

## 第 8 回千葉市新型コロナウイルス感染症対策本部会議

(令和 3 年 2 月 3 日開催)

### 【本部長指示事項】

(市長)

本市の 1 月 31 日現在の感染者は、重症 3 人、中等・軽症等 794 人で、人口 10 万人あたりの直近 1 週間(1 月 25 日～1 月 31 日)の新規感染者数は、38.0 人となり、前週の 63.5 人と比べると△25.5 人と減少傾向にあり、市民の皆様のご協力、飲食店など事業者が要請に応じていただいていることに感謝を申し上げます。

しかしながら、千葉県の 1 月 27 日時点の病床使用率は 65%で前週と比べ 8 ポイントの増、また、重症病床使用率も 61%で 13 ポイントの増となっていることから、依然として予断を許さない状況が続いているといえます。

この様な中、令和 3 年 2 月 2 日、菅総理は、緊急事態宣言の対象期間を 3 月 7 日まで延長すること、また、対象区域を 11 から 10 都府県とすること、飲食店の営業時間の短縮要請の継続、テレワークによる出勤者数 7 割削減の徹底などについて、基本的対処方針を示したところであります。

これを受け、本市でも市有施設の利用制限として、引き続き、夜間貸出枠の貸出しの中止、原則 18 時頃には施設を閉館、特に 20 時以降の不要不急の外出に繋がらないよう対応していくこととし、市民に速やかに情報発信をしていきます。

長期にわたる緊急事態宣言となり、市内の経済、市民の様々な活動に影響が出てくること懸念されます。それぞれの部署には、行動抑制などによる負の影響に十分に留意した対応をお願いします。

総合支援資金の特例貸付の拡充や住居確保給付金の支給要件の見直しについて総理から発言があったことから、本市においても速やかに対応し支援をしていきたいと思えます。

1 月には 1 日あたりの新規患者数が 100 人を超える日が連続するなど感染者が急増し、病床がひっ迫するとともに、自宅で療養される方が増えてきました。自宅療養をされる方に対して、万全の支援体制を構築していきたいと思えます。

新型コロナウイルスワクチン接種については、早期に全市民へのワクチン接種が終了するよう接種に関する新しい手法や情報等の収集・確認をしっかりと行うとともに、市医師会等関係団体と連携し、確実にワクチン接種ができる体制を整えるよう努めてほしいと思えます。

市職員の感染が出ていますが、市民への各種事業に支障が出ないよう、それぞれの部署で感染防止対策を改めて徹底してほしいと思えます。一方で、感染するなど強く言い過ぎると、感染を隠してしまう、報告を怠るなど様々なリスクが考えられます。体調不良となった場合は休む、躊躇なく診察・検査を受け、感染を早く発見し、対処していくことが重要だということを、職員は意識してほしいと思えます。

改めて、全庁一丸となった体制で、今後も各施策にあたってほしいと思えます。